

報 告 書

開催日時	平成26年5月16日（金）午後7時～8時30分	
開催場所	広田小学校体育館	
出席議員	挨拶 菅原悟班長（総務常任委員会委員長）	
	司会進行	菅野 稔
	報告者	佐竹 強
	記録者	藤倉泰治
	議員	千田勝治（欠席：小松眞）
参加人数	13人	
主な要望 ・提言等	<p>○予算の説明があったが、関連する資料がほしかった。あまり漠然としすぎている。</p> <p>○広田の災害公営住宅はあるのか。入居予定はいつか。</p> <p>○予算額が1293億円だが、基金が予算の半分以上になっている。どうなっているのか。</p> <p>○一括支払いになると、今後の財政に影響するのではないか。444億円が執行されず未実施で残っているのではないか。</p> <p>○広田診療所のこと心配だ。近江先生にがんばっていただいているが、あのまま仮設でやらせていいのか。再建はいつ頃になるのか。</p> <p>○レントゲンもとれない状況を変えてほしい。</p> <p>○復興交付金が多くあるようだが、いつ頃使うのか。</p> <p>○広田地区はダンプが相当走っているが、懸念されるのは道路の側溝が傷んでいる。整備はできないのか。小友で転落事故があったようだ。側溝の整備も進めてほしい。</p> <p>○高台移転の工事が進められているが、その高台の下の家や建物の対策として、排水側溝など大雨や排水対策の安全面について、点検し、周辺の住民の話も聞いてほしい。</p> <p>○JR大船渡線やバスなどの公共交通がこれから心配だ。病院への通院や通学にも影響している。JRの復旧を願うが、どういう見通しなのか。</p> <p>○小友から盛駅へのBRTやバス路線を改善してほしい。子どもを高校まで直接送ったりしている。バスの時間帯の状況はどうか。改善してほしい。</p> <p>○デマンドタクシーは前日予約なので、困る時もあるようだ。大船渡方</p>	

面への行くことができない。

- 年配の人が利用しやすい公共交通の整備を切に願う。
- 高齢化社会になって年寄りが多くなっている。バスが通らなくなったらますます困る。
- 仮設住宅団地は 50%になったら集約されると聞かすが、50%まで仮設住宅が空くまで相当かかると思う。子どもたちもかわいそうだ。小学校から空けるようにすべきと思う。
- 仮設住宅の移動を議員としても、集約をやることで考えるようにしてほしい。1回に集約は難しいと思うが、小学校の校庭は何とか空けるようにしてほしい。
- 災害公営住宅の一時入居者数はどのくらいか。市営住宅入居者だった人はどのくらい災害公営住宅に入る見込みなのか。
- 災害公営住宅は1千戸の計画だが、一時入居者が退去するなど、将来的に相当な空き室ができるのではないかと考えているのか。将来的なコストは考えているのか。どのくらいに見ているのか。
- 戸建ては他の市町村にはあるが、陸前高田市ではなぜ戸建てができないのか。戸建ての方が管理経費もかからないのではないかと。
- 田谷地区の今後のかさ上げはどのように考えているのか。
- 広田地区の街並みは、市でも一番最後になるのではないかと。
- 広田の地域の人にもわかってほしいが、広田地区の被災地低地をどうするか。市長に地域協議会で申し入れに行ったが、市長から、コミセンと連動してくれと言われた。防災集団移転以外の人にも働きかけて話し合ってもらいたい。そうすれば市役所も同じ土俵で一緒に話し合ってもらいたいと言われた。ぜひ、コミセンに申し入れたい。その後議員にも連絡が行くと思う。
- 小友と広田の間のアップルロード、高くしてほしい。どのくらいの計画なのか。
- 広田地区の道路の整備で、六ヶ浦の県道との取付道路、広田小学校の下やガソリンスタンド付近など、道路整備とまちづくりについて、地元での協議が必要ではないかと。
- いろいろ要望があるが、復興のために一つひとつの課題を片付けてほしい。それがないと事が進まないと思う。その仕事が議員にかかっていると思う。大きな声で市の方に言ってほしい。
- 何を重点にしてすすめるのか明確にしながらすすめるべき。
- 保育園移転の問題も大きな問題。被災後やっとの思いで用地確保などが進められてきている。広田診療所の再建もある。
- やっぱり災害公営住宅が先だと思う。年をとって今のままで死にたく

	<p>ないというのが切なる思いだ。ある程度の生活が早くできるようにしてほしい。</p> <p>○今後はいろんなもの建てたとしても、維持管理がかかる、そして人口減少だし、復興予算があるとは言っても、お金がなくなってくると思う。今金があるからといって、金をあまり使わないように。議員も身を削るように。</p> <p>○野外活動センターの見通しはどうなっているのか。</p> <p>○地盤沈下について、気仙沼では 80 センチ地盤沈下したが、最近 14 センチ上昇しという情報が入った。市でも確認してほしい。</p>
<p>所 感</p>	<p>【菅原悟】</p> <p>広田町の災害公営住宅の早期完成や広田診療所の本設を早期に臨む声があった。また、高台移転等に直接関係のない市民にも説明を求める意見があった。</p> <p>【菅野 稔】</p> <p>道路や側溝の亀裂状況の確認・県交通の復活・広田病院の開設・朝日道路の拡幅・一日でも早く広田小学校仮設住宅撤去願う声・(田谷・大野地区)の盛土をどうするのか・鳥羽医院前からイオン陸前高田店までの嵩上げは等、地域の諸問題の要望の声が多かった。特に公営住宅の早期完成を望まれていると感じた。</p> <p>【佐竹 強】</p> <p>日々の暮らしの中でのいろいろな問題を感じさせる身近な具体的要望が出された。中でも広田診療所の早期建設、広田町への安全な道路の改良、公営住宅の早期建設をはじめ具体的な要望事項が数多く出された。震災の際に孤立した事実、水道機能がまひしたことなど深刻な体験からの要望が相次いだ。</p> <p>広田地区の早期復興の必要性を強く感じた。</p> <p>【千田勝治】</p> <p>広田半島路線は、狭あいの箇所が多く、改良要望や日々病院へ通院に対する交通手段が不便で、デマンド交通及び路線バスの利便対策が出された。また、広田診療所の本設復旧に充実が求められ、地域格差が感じられた。</p> <p>【藤倉泰治】</p> <p>今後の生活を考えるうえで、地元の診療所と保育園の早期再建のことが共通の願いになっていることを再認識した。広田地区の公共交通での不便さがあり、JR大船渡線早期復旧とバス路線改善の要求が強く、議会の緊急課題としての取組みと責任を感じさせられた。</p>

議会広聴広報特別委員会

広聴小委員長 松 田 信 之 殿

平成26年6月6日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成26年度議会報告会 1班

班 長 菅原 悟 ⑩